

踊る大捜査線 The Movie

観賞日 2025 年 11 月 10 日 上映時間 119 分

【概要】

制作 1998 年

監督 本広克行

脚本 君塚良一

音楽 松本晃彦

撮影 藤石修



出演 織田裕二（青島俊作）、柳葉敏郎（室井慎次）、深津絵里（恩田すみれ）
いかりや長介（和久平八郎）、ユースケ・サンタマリア（真下正義）
水野美紀（柏木雪乃）、神山繁（吉田副総監）、小泉今日子（日向真奈美）
北村総一郎（神田課長）、小野武彦（袴田健吾）

【あらすじ】

警視庁副総監の誘拐事件。その前後に起きた猟奇的殺人事件と湾岸警察署内の窃盗事件。警視庁の威信をかけて誘拐事件の指揮を執ることになったのは室井参事官。室井は湾岸署刑事の青島と親交のあるキャリア官僚。警察組織の頭脳に相当しながらも責任を取ろうとしない上層部と足腰に当たる下層部（所轄・現場）との狭間で苦しむ室井。一向に捜査が進展しないためついに公開捜査に踏み切る。苦境に立たされた室井をみた青島は猟奇的殺人事件の犯人として自主し、犯罪者心理に詳しい日向の助言にヒントを得ようとする。さらに、敬愛するベテラン刑事和久によるピンクの煙を手掛かりにして犯人の居場所を突き止める。漸く犯人にたどりついた青島だが、思いがけず犯人の母親に刺されてしまい・・・。

警察組織の矛盾をコミカルに描いたテレビドラマの劇場版。笑いあり、涙ありでとにかく面白い。

【解説】

■ポイント

●TV 版「踊る大捜査線」の劇場版

1997 年放送のフジテレビ系刑事ドラマ（当時はフジテレビの全盛時代）

警察組織の内部矛盾（キャリア制度・官僚主義・縦割り行政他）をコミカルに表現

●多くの対立軸

本庁と所轄、キャリアとノンキャリア、キャリア同士（東大卒と他大学卒）

本庁内での対立（刑事部と公安部）

●受賞（1999 年第 22 回日本アカデミー賞最優秀賞）

7 部門にノミネートされ、助演男優賞（いかりや長介）を受賞

■見どころ

●他作品のオマージュ（パクリ）

タイトル「踊る大捜査線」：「踊る大紐育」＋「夜の大捜査線」

ピンク色の煙：黒澤作品「天国と地獄」

小泉今日子扮する日向真奈美：「羊たちの沈黙」のレクター博士

コートを着用する青島刑事：「刑事コロンボ」のコロンボ刑事

ナイフで刺される青島刑事：「太陽にほえろ」の G パン刑事

●シリーズを象徴する名セリフ

「事件は会議室の中で起きているんじゃない。現場で起きているんだ」（青島俊作）

●軽快なテーマミュージック

アクションものの大ヒットシリーズ（「太陽にほえろ」「ルパン三世」「007」）に共通